BIMONTHLY REPORT

バイマンスリーレポート
No. 389
SENDAI KEIZAI DOYUKAI
2018.4.20

［特集］

仙台経済同友会・
ものづくり委員会の活動とは

東北のものづくりの発展と進化を目指して

【巻頭言】

魅力ある東北に人を呼び込む仕事づくりや環境整備を

トヨタ自動車東日本株式会社　取締役社長／白根 武史

例会ダイジェスト

明日を考え未来を語る

世界防災フォーラム　防災ダボス会議の報告
平成30年度　仙台市施政方針について

KEIZAI DOYUKAI
仙台経済同友会
Sendai Association of Corporate Executives

【巻頭言】

トヨタ自動車東日本株式会社
取締役社長

白根 武史

Shirane Takeshi

魅力ある東北に人を呼び込む仕事づくりや環境整備を

2013年に大山代表幹事から、仙台経済同友会に「ものづくり委員会」をつくりたい、そこでぜひ活動を引っ張ってほしいというお話がありました。我々はずっと、「ものづくり」をやってきた会社なので、お役に立てればということで委員会活動がスタートしました。

当同友会に入会してみて驚きました。仙台は支店文化といわれており、3次産業が多く、ものづくりをやられている会員の皆さんが本当に少なかったからです。しかし、1次産業、2次産業が競争力を持つことは、仙台、宮城、ひいては東北が将来、地に足のついた発展を遂げていくために非常に重要なことだと思います。

一方、東北に縁もゆかりもない人が、どれだけ東北に魅力を感じて移り住んでくれるか、ということもこれからの課題でしょう。

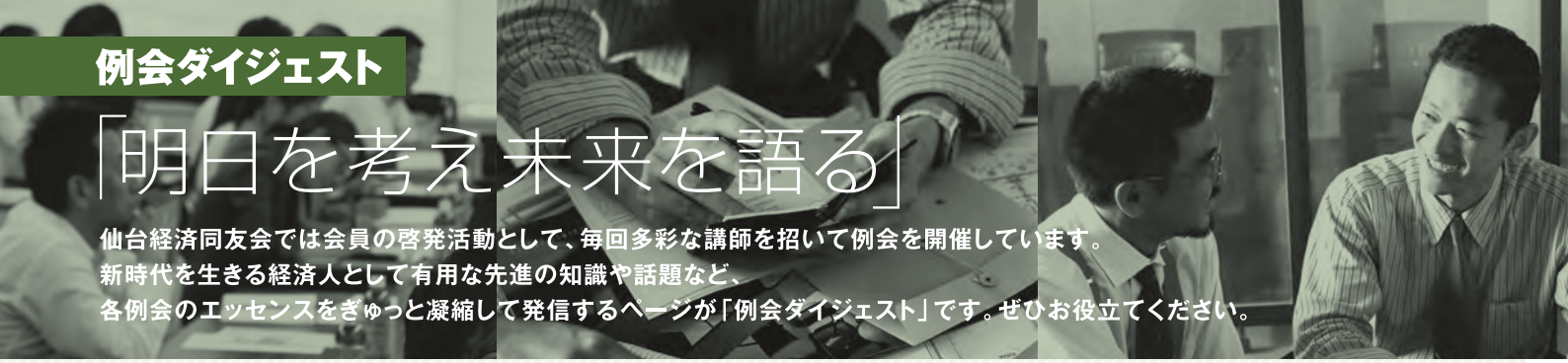
当社は、2012年に設立後、静岡や神奈川から約8百名の従業員が家族とともにこちらにやってきました。そこでよく耳にするのが、仙台は住みやすいという声です。実際に仙台に家を建てて両親を呼び寄せた家族もいます。東北は人情があって、食べ物もおいしいし自然も豊か。さらに子育て世代は、子どもの教育にも理想的な文教都市だというのですね。つまりお年寄りも子どもも、幅広い年代が生活しやすい街だと言えるでしょう。

ただし、まだ整備が必要な部分もあります。そのひとつが「保育所」です。東北は三世代同居率が高く、全国平均8%弱に対して15%近いという数字があります。つまり愛情あふれるおじいさん、おばあさんに子どもを託して働ける環境に恵まれているということですね。それだけに、他県から移り住んだ人にとっては保育所不足が深刻です。当社でも、共働きしていた奥さんが仕事を辞めざるをえないという状況が起こりました。そこでつくったのが企業内保育所です。開設にあたっては、企業主導型保育事業として内閣府の助成を受け、県や町村にもご協力をいただきました。現在は当社の従業員のみならず、同じ第一・第二仙台北部工業団地企業や地域の方々にも利用していただいています。

これまで日本のものづくりは苦難の時代といわれ、多くの製造業は外国に拠点を移してきました。しかし、状況は変化しています。安定した政治、勤勉な国民性へ再び目が向けられ、今後は日本国内、とくに東北を拠点とする動きが出てくることを私は確信しています。BCMの観点からも、関東圏への一局集中は問題です。

東北をより豊かに発展させるためには、1次産業、2次産業含め、あらゆる分野で「一人ひとりが、どうしたら生産性があげられるか」日々考えながらチャレンジすると、一体感が生まれ、人材が育ち、圧倒的な強みになると考えます。

これからも、当同友会で、さまざまな業種の方たちといっしょに、ものづくりを通じて可能性を追求し、東北だからこその豊かな未来を展望していきたいと思います。



例会ダイジェスト

「明日を考え未来を語る」

**仙台経済同友会では会員の啓発活動として、毎回多彩な講師を招いて例会を開催しています。
新時代を生きる経済人として有用な先進の知識や話題など、
各例会のエッセンスをぎゅっと凝縮して発信するページが「例会ダイジェスト」です。ぜひお役立てください。**

2018年2月、3月の月例会では、下記の講師にご登壇いただきました。講演内容（抄録）を仙台経済同友会のホームページに掲出しております。

2月例会

世界防災フォーラム　防災ダボス会議の報告

東北大学災害科学国際研究所　所長　**今村 文彦氏**

昨年2017年11月26日から仙台市で開催された「第一回世界防災フォーラム」には世界各国から多種多様な立場の方が参加し、有意義な議論が交わされました。その会議の意義や内容、成果についてご報告いただきました。また、自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進する東北大学「災害科学国際研究所」の活動内容や、7年前の東日本大震災の状況についてお話しいただきました。

◉講師紹介

東北大学災害科学国際研究所　所長

今村 文彦氏

平成元年　東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了（工博）、京都大学客員助教授防災研究所、東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教授を経て、現在同災害科学国際研究所教授（所長）。主な専門分野は歴史地震津波痕跡調査や津波防災技術開発などで、津波工学の最先端の研究・教育と地域の防災力の向上に幅広く取り組む津波工学のスペシャリスト。内閣府中央防災会議専門調査会委員や宮城県震災復興会議など各種委員も務める。地震・津波の解析などに関する著書も多数。

3月例会

平成30年度　仙台市施政方針について

仙台市市長　**郡　和子氏**

全国の中でも人口減少や高齢化が顕著に進む東北にあって、唯一の政令指定都市である仙台市の果たすべき役割が求められています。そんな中、昨年7月に仙台市長に就任された郡和子氏にご登壇いただき、仙台市の宝である「ひと」と「まち」をキーワードに、「ひとを育む、まちを育む」ための施策を掲げながら、東北を課題先進地から課題解決先進地に導く仙台市の今後の方向性についてお話しいだきました。

◉講師紹介

仙台市市長

郡　和子氏

仙台市生まれ。宮城県立第二女子高等学校、東北学院大学経済学部卒業、東北放送(株)入社、解説委員・報道制作局部長などを歴任。2005年 第44回衆議院議員選挙で初当選（東北比例）後4期当選。民主党 筆頭副幹事長、民主党男女共同参画委員会　委員長、東日本大震災復興対策担当大臣政務官、復興大臣政務官（宮城復興局担当）などを歴任。2017年7月23日の仙台市長選挙で無所属で立候補し当選。第18代仙台市長に就任。

［特 集］
委員会の活動

仙台経済同友会・ものづくり委員会の活動とは

東北のものづくりの発展と進

**仙台経済同友会・会員企業290社は９つの委員会に分かれて活動を続けています。
その中の一つ・ものづくり委員会では、毎年会員企業の中からモデル企業をたてて、トヨタ自動車東日本と共にモデル企業の現場のカイゼン活動に取り組み、そのプロセス・成果を委員会で発表・共有することで、宮城県内製造業の発展・進化を目指しています。
今回はカイゼン活動を経てモデル企業が大きく変わっていくものづくり委員会の活動を紹介します。**

製造業や食品加工業が活動に積極的に参加

▲▶現場視察の様子
株式会社みちさき（写真上）、東北計器工業株式会社（写真下）

ものづくり委員会は、トヨタ自動車東日本が実践しているカイゼン活動を通じて仙台の製造業を中心としたものづくり企業を発展・進化させていくことを目指しています。はじめに、モデル企業の現場でトヨタ自動車東日本の担当者と話し合い、企業の課題を双方で共有します。その上で、それぞれの視点で意見を交換し、知恵を出し合ってカイゼンを進めていきます。

モデル企業は製造業や食品加工業など多岐にわたり、個々の企業が設定する課題や、解決に向けたアプローチの仕方はそれぞれ異なります。自動車製造と異なる現場ではトヨタ自動車東日本の担当者にとっても戸惑うことが少なくないそうですが、業種の異なる会社の社員同士が一緒に活動することで双方にとって大きな学びを得られる機会となっているといいます。

現場での作業手順や作業動線、更に用具の使い勝手などの確認をしていくうちに、今まで当たり前のように考えていたやり方にさらなるカイゼンの余地がある事が分かってきます。そしてひとつのカイゼンをすると、カイゼンの目は他工程へ波及していきます。こうして、従業員一人ひとりに「カイゼンは面白い」という意識が芽生え、新しい発想を生み出し、企業全体の活性化へとつながっていきます。

会員社によるものづくり委員会の活動は、仙台経済同友会が目指す東北の経済交流の活性化につながっているといえそうです。

スペシャルインタビュー

委員会の活動を通じて企業も人も変わっていきます

ものづくり委員会の委員長として熱心に活動を続けているトヨタ自動車東日本取締役社長・白根武史さんに活動内容や今後の展

悩みながら作業工程の解決策を生み出すことができた時「これは面白い！」と実感できるのです

Q ものづくり委員会の活動を通じて、モデル企業ではどのようなカイゼン効果が生まれているのでしょうか？

2013年からものづくり委員会の活動が始まりました。最初にモデル企業になっていただいたのは弘進ゴムさんと、東北特殊鋼さんでした。弘進ゴムさんの例をあげますと、ホースの製造部門でさまざまな課題を洗い出し、当社の担当者と共に解決策を考えました。その結果、目に見える形で工程作業が整理され、無駄がなくなり、中間在庫、完成品在庫を抱えることもなくなったのです。在庫が少なくなり、作業工程も簡略化できたことから顧客の突然の注文数の増減にもきめ細かに対応できるようになり、企業収益にも貢献できました。

弘進ゴムの西井英正社長自らがこの活動にとても熱心に取り組んでいただきました。トップが意思を持って取り組むことが大事で、やがて現場の一体感が生まれ、人材育成につながるのです。

社内のリーダー役の方は「ものづくり委員会って何なのだろう？ 何をこれからすればいいんだろう？」と最初は戸惑われます。しかしながら、活動を進めていくうちに「これは面白い！」と考えが変化しはじめます。リーダーのみならずメンバーたちが同じように意識改革ができたのです。課題を見つけ、それをどのように解決するかの道筋を考え、試行錯誤の末に解決策を生み出すことができた時、その達成感は通常業務では味わえないものだったと思うのです。当たり前の作業だけしていては見えないものが見えてくる…目から鱗が落ちるような体験をたくさんできたのではないでしょうか。

もちろん、解決策は簡単には生まれません。当社社員の話ですが、作業工程の省力化についてカイゼンの課題を与えられ、一日中ずっと考えた案も失敗ばかりという日が続いたということです。それがふとテレビに映った物を見て「これ使えるぞ!!」と瞬時にひらめいたという例があります。人間は常に意識しているからこそあっと驚くようなアイデアが生まれてくるものです。悩み苦しみ、たゆまぬ努力がやりがいのある結果につながっていくのです。

その後、弘進ゴムのカイゼンのリーダーは、西井社長に見込まれて他の部門でカイゼン活動に取り組んでいるとのこと。まさしく「ものづくりは人づくり」です。この活動が人材育成につながっているという好例だと思います。

化を目指して

▲現場視察の様子
（株式会社パールライス宮城）

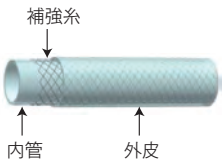
弘進ゴム株式会社のカイゼン活動【2014年度】

カイゼンのテーマ

工業用ホースの小ロット化による日当たり生産品種の多品種化

弘進ゴムが製造していた工業用ホースは内外径や材質などにより323種類にのぼる。品質不良や欠品を恐れ、注文量より多く生産していたため、在庫の保管期間が少なくても2か月。長いものでは4～12か月保管していた。

カイゼンのテーマを「日当たり生産品種1品種→小ロットの2品種」に定め、出荷品種に対応できる生産形態に向け見直しを図ることにした。



カイゼンステップ

STEP 1

工業用ホース工場の社員が全員参加して、カイゼン活動を進めるキックオフ会を行い目的意識を共有した。

その後、社員はトヨタ自動車東日本からの基礎教育と演習を受講して「ムダのカイゼン」を理解した。

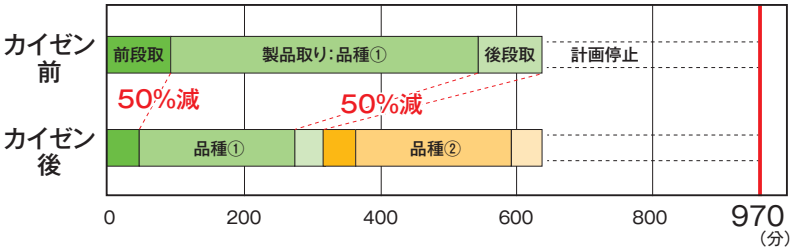
STEP 2

モデル工程を選出して、段取り（型の交換作業）を撮影したり、作業時間を計測したり、問題点の整理するなどして、作業担当者とトヨタ自動車東日本のメンバーと共に分析した。

段取りに1日180分の時間を要していたため、1日1製品しか生産できなかった工程の見直しを図った。その結果、段取り時間を90分にするカイゼンを実施することができた。

STEP 3

段取り時間の半減で小ロット化を図り完成品在庫50%低減した。さらに今回取り組んだ工程をモデルに他のラインでのカイゼンを進めた。段取り時間もさらに低減することができた。



望などについてうかがいました。

現場での報告が難しい場合、映像なども駆使してモデル企業のカイゼンを共有したい

Q 今後のものづくり委員会についての課題や展望をお聞かせください。

仙台は製造業よりも3次産業が多いのですが、ものづくり委員会の活動には1次、2次、3次産業問わず様々な分野の方が積極的に参加していただきたいと思います。まわりの力を巻き込んでいく力、アプローチの仕方など、どの産業でも共通だと思います。異業種間でも「ああ、そういうことか」「そういう考え方をすればいいのか」というような様々な発見をし、課題を共有し「教え教えられる」風土をつくり上げていきたいのです。

仙台経済同友会の企業間で一体感を持つことで企業も人も育ち、ひいては東北全体のボトムアップを図ることができると考えられます。

それからものづくり委員会の活動は、現地現物※を基本としていましたが、これからの委員会活動では活動実績の報告は必ずしも現場での開催でなくてもいいのではとも考えています。

モデル企業として手を挙げていただいている企業の中には、食品関連の企業さんも少なくありません。中間報告、年度報告などにおいて，活動実績を現場で発表していただくときに、衛生管理面等から現場への立ち入りが困難なケースもあります。今後、ものづくり委員会の発表の場において現地現物が難しい場合、モデル企業のカイゼン前と後の現場を収録した映像を用いて報告頂くなど、参加企業の皆さんと共に課題とその解決策を共有化していくことも新たな取り組みとして必要だと思っています。

▲「2017年度 第1回ものづくり委員会」で発言をする白根武史トヨタ自動車東日本取締役社長（2017年10月27日）

そして、アンテナを高く掲げて課題を見つけ、周囲の力を巻き込んで東北経済の基盤強化に貢献していくためにも、ものづくり委員会の活動に今後も協力していきたいと考えています。

※現地現物＝ものごとの行われている現地に足を運び現物を見ながら考えること

特集・次ページへつづく

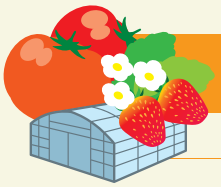
［特 集］
委員会の活動

2017年度のものづくり委員会活動報告
各企業がさまざまなカイゼンに取り組む

2017年度委員会の活動方針は「現場のカイゼン活動を通じて宮城県内製造業の発展・進化を目指す」。活動を行うなかで、一人ひとりの生産性を上げることを実践しています。

リーダー企業は、弘進ゴム株式会社、東北特殊鋼株式会社、パールライス宮城株式会社、株式会社みちさきの４社。モデル企業は東北計器工業株式会社と株式会社舞台ファーム。

３月22日に、株式会社みちさき、東北計器工業株式会社、株式会社舞台ファームの年度報告が行われました。



グローバルGAP認証取得に挑戦。未来の農業のみちさき案内人になれるように

株式会社みちさき　仙台市宮城野区蒲生字細川65

業務内容　水耕栽培施設におけるトマト・葉物類などの生産

活動テーマ　**グローバルGAPの認証取得**

2015年、2016年度はモデル企業として作業者の動作や安定生産をテーマにカイゼンに取り組みました。

2017年度はリーダー企業として、カイゼンを自社の文化として定着すべく、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催をきっかけに注目されているグローバル GAP※の認証取得に挑戦しました。これはコンサルタントの指導無しでは取得が難しいと言われているものですが、自分たちの力だけでチャレンジし、今年の２月に審査を受審し、見事合格することができました。審査内容も250審査項目中カイゼン項目１ヵ所のみと高評価を得ました。

次年度は全従業員にこの活動を浸透させて、当たり前の事を当たり前に実践出来るようにしたいと考えています。未来の農業の「みちさき」案内人になれるよう挑戦し続けたいと思います。

※グローバル GAP ＝世界の農業者の共通テーマである、「食品安全」「労働安全」「環境保全」「生態系の維持」に対するリスクアセスメントの実践を通して「食の安全と持続可能な生産」を実現する活動

カット野菜の生産現場における作業時間の短縮

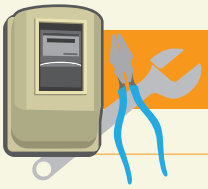
株式会社舞台ファーム　仙台市若林区日辺字田中11

業務内容　お米・野菜の生産、およびカット野菜の生産

活動テーマ　**カット野菜の生産現場における作業時間の短縮**

当社は「農業商社」を社是とし、農業生産法人として日本農業の先進事例を切り開くべく、お米をはじめ様々な取り組みを行っております。その中の一つの事業として「生食用カット野菜の生産」があります。カット野菜事業に関しては、大手コンビニやスーパーなどの販路に対し24時間体制で生産を行っています。今年の冬は天候不順により野菜価格が高騰し、カット野菜へのニーズが高まりました。平常の約1.8倍もの発注がある時期もありましたが、欠品を起こさずこれをやり切ることができました。これは、トヨタ自動車東日本の皆さまと、無駄のない生産を目指し鋭意取り組んできた成果でもあると考えます。例えば、工場のレイアウトを変更し、機械の配置や野菜の置き方を変更するカイゼンをしたことなどです。工場内の動作時間を測定した結果、無駄の多い動きをしていたことが分かり、人・もの・情報の流れも変えて作業時間の短縮へつながりました。また、野菜カット工場では最新機器の大型洗浄装置を導入しています。徹底的な品質管理に細心の注意を払っていることもありますが、商品の切り替え準備に時間のロスが発生していました。機械に水を流すなど工夫し、切り替え時間を短縮することができました。

今年度の活動の結果、従業員のカイゼンに対する自信と意欲が向上しました。今期は４名のスタッフにてカイゼンに取り組みましたが、来期は活動メンバーを拡大し、更に高い目標を掲げて生産性を高めていきたいと思います。



「ものの入り口から出口まで」の流れや作業内容のカイゼンを続ける

東北計器工業株式会社　黒川郡大和町吉岡字石神沢34-1

業務内容　使用電力料金を算定する計量器の製造と修理

活動テーマ　**部品や完成品の在庫低減**

次世代電力量計のスマートメーターをはじめ、計器用変成器など電気計量器類の製造と修理を行っています。当社では2016年度、2017年度の２年間にわたり主力製品であるスマートメーターの「ものの入り口から出口まで」の流れや作業内容のカイゼンに取り組みました。まず「入り口」の部品倉庫では、部品搬入の流れを検討。部品を倉庫に下ろす手段をベルトコンベアからフォークリフトに変更して作業時間の短縮を図ると共に、部品を必要な分だけ取り出せるようにしました。次にスマートメーターの組み立て工程では、部品供給の流れを見直しました。そして、部品を取り出した後の空箱処理作業にはからくりシューターと名付けた装置を開発し、単純作業の効率化を図ることができました。

また「出口」にあたる製品倉庫では、これまで先に製造された製品が奥に積み込まれており、取り出して出荷するのに時間がかかっていました。検討の結果、スマートメーターの完成品が入った400kgもある通箱を移動させるのにコロコン※にのせて移動させることを考えつきました。当社の担当スタッフがオリジナルのコロコンを設計し、組み立て、設置を行って、作業もやりやすくなり時間も短縮にもつながりました。自分たちだけで作業者が楽になるようなカイゼンをやり遂げた達成感は次の仕事への意欲にもなると思います。

次年度は入り口から出口までのカイゼンを継続的に行い、部門横断的な活動の定着を図って行きたいと考えています。

※コロコン＝ベアリングを使っているコンベア

2018年度の委員会活動

●リーダー企業／弘進ゴム株式会社、東北特殊鋼株式会社、株式会社パールライス宮城、株式会社みちさき、東北計器工業株式会社
●モデル企業／株式会社舞台ファーム【継続】、株式会社ホテル佐勘【新規】

新入会・交替会員紹介

会員総数 314名（2018年3月31日時点）

入　会（1名）

会員
阿部 康平様
株式会社 阿部砂利建設
専務取締役

交　替（1名）

会員
工藤 勝正様
東北三八五流通株式会社
代表取締役社長

季節の祭り、イベント情報

まつり・花

4月26日(木)→5月10日(木)

よねやまちゅーりっぷまつり
米山チューリップまつり

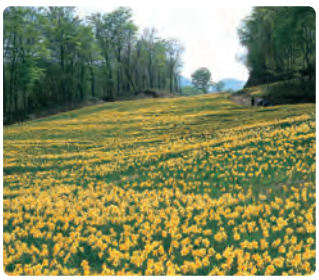
春の訪れとともに、道の駅米山「ふる里センターY・Y」の西側に10万株、60種のチューリップ畑が出現。100aの花畑一面に赤、白、ピンク、黄色と、色とりどりの花が咲く光景は見事です。期間中には農産物・球根などの販売も行われます。（雨天の場合球根販売中止もあり）

- お問い合せ／TEL.0220-55-2747
- 会場／道の駅米山（登米市米山西野字遠田67）
- アクセス／東北自動車道・古川ICより車で約40分
  三陸自動車道・桃生豊里ICより車で約15分
- 駐車場／有り

※開花状況は気候により変動あり

まつり・花

4月21日(土)→5月20日(日)



みやぎざおうえぼし　すいせんまつり
みやぎ蔵王えぼし すいせん祭り

甘い香りを漂わせて、約30種55万株のスイセンがゲレンデを埋め尽くす光景は圧巻です。期間中は展望ロープウエイ（往復　高校生以上1300円）が毎日運行。GW中はイベントも盛りだくさんです。

- お問い合せ／TEL.0224-34-4001
- 会場／みやぎ蔵王えぼしリゾート（刈田郡蔵王町遠刈田温泉倉石岳国有林内）
- 入場料／600円　中学生以下無料
- アクセス／東北自動車道・白石ICより車で約30分
- 駐車場／有り 3800台

※開花状況は気候により変動あり

まつり・伝統

5月5日(土・祝)

はなやまてっぽうまつり
花山鉄砲まつり

藩政時代、領主の奥方が幼君の健康を祈願し、そのご利益に感謝して鉄砲組に祝砲を撃たせたのが祭りの由来。鉄砲組や稚児行列が囃子とともに発砲会場まで市内を練り歩きます。12丁の火縄銃が一斉に轟音を響かせる様子は迫力満点です。

- お問い合せ／TEL.0228-43-5111（花山農山村交流センター）
- 会場／御獄神社～旧花山中学校校庭（発砲会場）
- アクセス／東北自動車道・築館ICより車で約40分
- 駐車場／有り 600台

まつり・歴史

5月19日(土)→5月20日(日)

せんだい・あおばまつり
仙台・青葉まつり

杜の都・仙台に初夏の訪れを告げる祭りです。
19日の宵まつりでは提灯をともした山鉾が巡行。本まつりでは、神輿渡御や武者行列、11基の山鉾に、2000人もの華やかな「仙台すずめ踊り」の行列が、絢爛豪華な時代絵巻を繰り広げます。

- お問い合せ／TEL.022-223-8441（仙台・青葉まつり協賛会事務局）
- 会場／仙台市役所前市民広場、勾当台公園、一番町買物公園、
  定禅寺通、東二番丁通ほか
- アクセス／市営地下鉄南北線・勾当台公園駅から徒歩3～15分
- 駐車場／近隣駐車場利用

写真提供:宮城県観光課

ピックアップ瓦版

富谷市 東北唯一の人口増

45年 市区町村推計人口

仙台隣接 追い風に

国立社会保障・人口問題研究所による2045年までの将来推計人口で、東北6県の市区町村では富谷市が唯一、45年の人口が15年の国勢調査時より増える見通しとなった。隣接する仙台市のベッドタウンとして人口が増え続け、16年10月に市制移行した勢いを今後も約30年保つ想定だ。

3月30日発表の推計によると、富谷市は15年人口を100とした場合の指数が45年人口で110・1だった。他は名取市99・9、宮城県利府町97・8、東根市93・7、滝沢市89・8、仙台市85・3など。人口増が続いた地域でも減少に転じると見込まれる中、富谷市だけ10・1%増となった。

若生裕俊市長は、2日に行った新年度訓示で「誇りに思う」と言及。「人口増の実現に向けて、さらに努力しなければならない」と述べた。

富谷市は、旧富谷町に町制移行した1963年の人口約5000が2012年に5万に到達。約50年で10倍に拡大し、市町村合併を経ずに市へ昇格した。今年2月末現在の人口は5万2632。今回の推計で示された45年人口は5万6822で、市は60年に6万の目標を掲げる。

若生市長は「子育て環境と高齢者が安心して暮らせる環境づくりを進め、目標を実現したい」と語った。

（出典：河北新報 2018年4月3日（火））

次号の特集のご案内

今年は全国的に桜の開花が早く、東北にも春爛漫の季節が到来しました。いよいよ新年度のスタートです。特集では仙台経済同友会「ものづくり委員会」の活動とその成果についてご紹介しました。活動を通じてモデル企業が大きく変化する様子がお分かりいただけたかと思います。
次号の特集は、夏のバケーション時期を前に、独自の戦略でインバウンドに積極的に取り組む秋保温泉エリアを取り上げてお伝えいたします。どうぞご期待ください。

仙台経済同友会
BIMONTHLY REPORT
2018年4月号　No.389　平成30年4月20日発行

○発行人／大山健太郎　一力雅彦　○編集人／川嶋輝彦　○発行所／仙台経済同友会
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービルディング12階
TEL／022-223-8555　FAX／022-262-2650　URL／http://sendai-doyukai.org
製作・印刷／今野印刷株式会社